

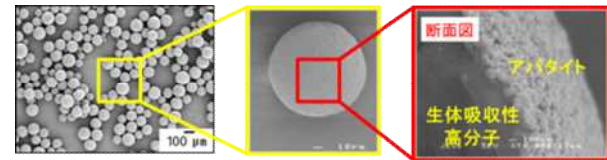
虚血下肢の治療を目的としたInjectable cell scaffoldの非臨床試験



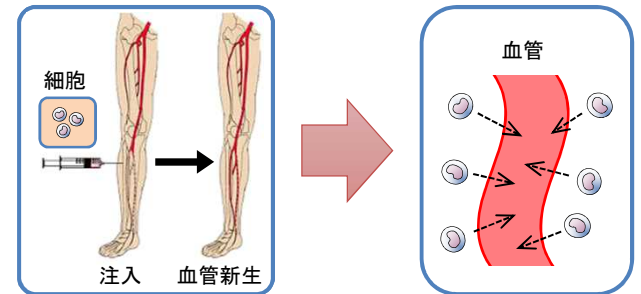
■期待される成果
 下肢虚血治療の一つである細胞移植による血管新生療法の有効性を向上させる。

■プロジェクトリーダー
 ゲンゼ株式会社 鈴木 昌和
 ■実施機関
 ゲンゼ株式会社、大阪市立大学、近畿大学
 ■実施期間：平成26年12月～平成29年11月

- シーズの内容
- ・ナノサイズのハイドロキシアパタイト(HAp)単結晶およびその製造方法に関する技術
 - ・HApで被覆された高分子粒子およびその製造方法
 - ・生体吸収性高分子とHAp単結晶の複合粒子



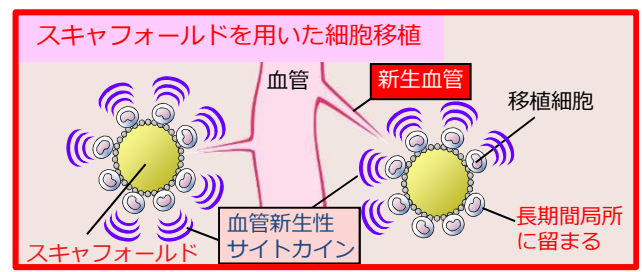
1. 従来の細胞移植治療



移植細胞の70～80%が48時間以内に体循環へと拡散するため患部に細胞が定着せず、血管新生効果を十分に発揮できない。

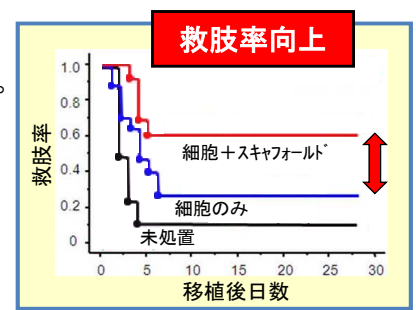
2. 開発コンセプト

■移植細胞を患部に長期間停留させる材料（スキャフォールド）およびそれを用いた治療法を開発する。
 → 治癒率の向上、低侵襲化



3. 開発状況

- 虚血下肢モデル動物で血管新生効果を検証した。
- ・スキャフォールドと共に移植した細胞が、移植局所に長期間維持された。
 - ・血管新生が増幅され、救肢効果が增强された。



4. 今後の開発

- 非臨床試験に向けたスキャフォールドの製造・物性評価系の確立（平成28年度）
- 治験に向けて、非臨床試験を実施する。（平成29年度）